

佐田岬漁港における防災・減災、国土強靱化の取組（県営事業）

佐田岬漁港の概要

本漁港で陸揚される、ハマチやタチウオは全国に出荷されており、採貝や採藻なども盛んにおこなわれています。また、近隣海域で操業する漁船の避難港としての役割を持つ中核的生産拠点となっている漁港です。

事業の目的と概要

近年の高潮や波高の異常な増大等に対し、本漁港の波浪に対する機能診断を行った結果、安定性が保たれていない施設があることが判明しました。生産拠点漁港として近隣の漁業活動のためにも、被害を最小限に抑える必要があります。そのため、耐波浪に対して所定の性能を確保する機能強化工事を実施しています。

事業期間：第1期 平成26年～令和3年

整備内容：浮体式係船岸（新設）、北防波堤（改良）

第2期 令和3年～令和7年

第一防波堤（改良）



物揚場 浮体式係船岸(H29完成)

北防波堤(R3完成)

第一防波堤改良断面（案）(R3より実施中)

